

フィッシング対策協議会

月次報告書（2006年8月分）

フィッシング情報届出状況

2006年9月20日

目次

1.	フィッシング情報届出状況	2
1.2.	業種別の状況	5
1.3.	フィッシングサイトのホスト国	6
1.4.	フィッシングメールの動向	6
1.5.	フィッシングサイトの動向	7
1.6.	フィッシング関連の不正プログラム情報	7
1.7.	その他の動向	7
1.8.	総括	7

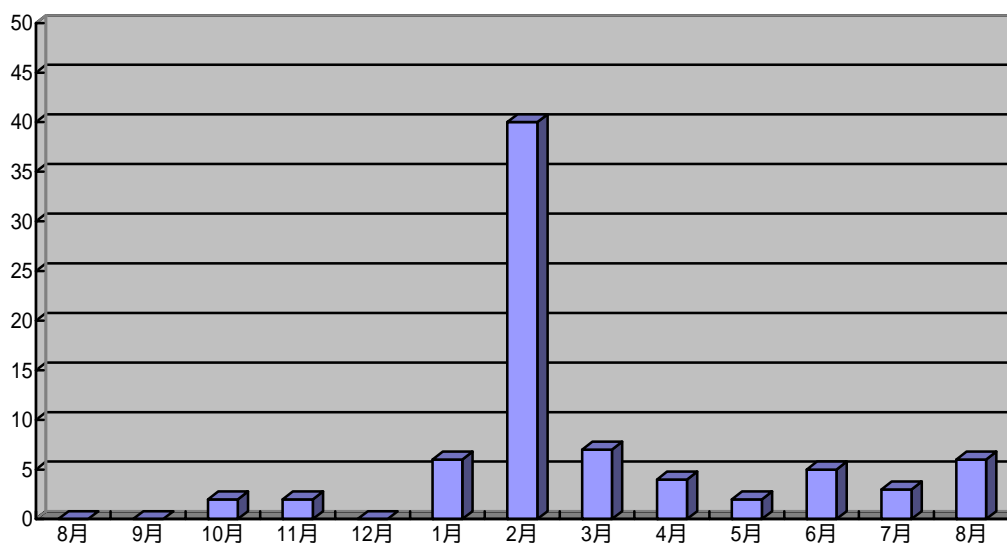
1. フィッシング情報届出状況

1.1. フィッシング情報届出状況

2006年8月度のフィッシング報告件数は6件でした。

- フィッシング情報の届出件数： 6件

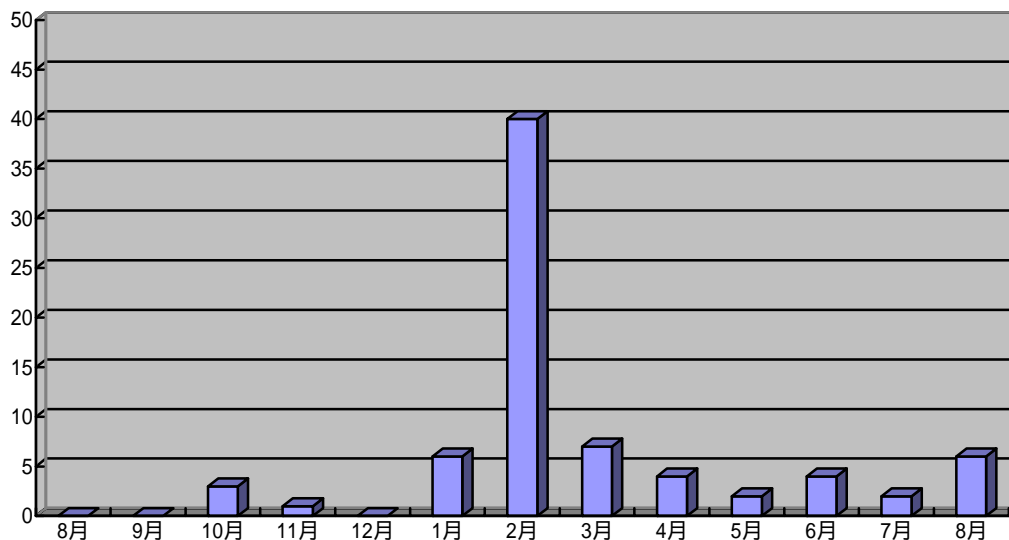
2006年8月度に報告されたフィッシング情報は6件で、先月度よりも3件増加しました。



フィッシング情報の届出件数(2005年8月～2006年8月)

・ **フィッシングメールの件数**： 6件

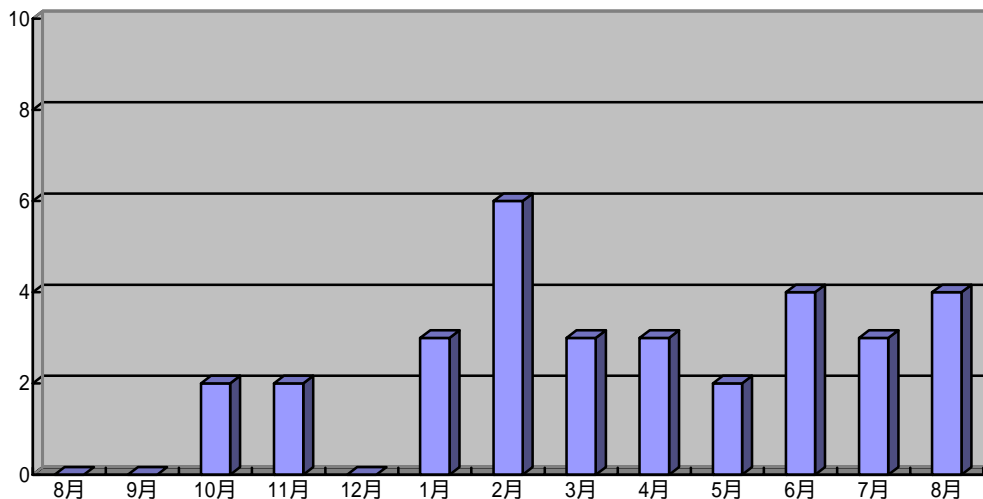
2006年8月度に報告されたフィッシングメールは6件で、先月度よりも4件増加しました。



フィッシングメールの件数(2005年8月～2006年8月)

・ **フィッシングサイトの件数**： 4件

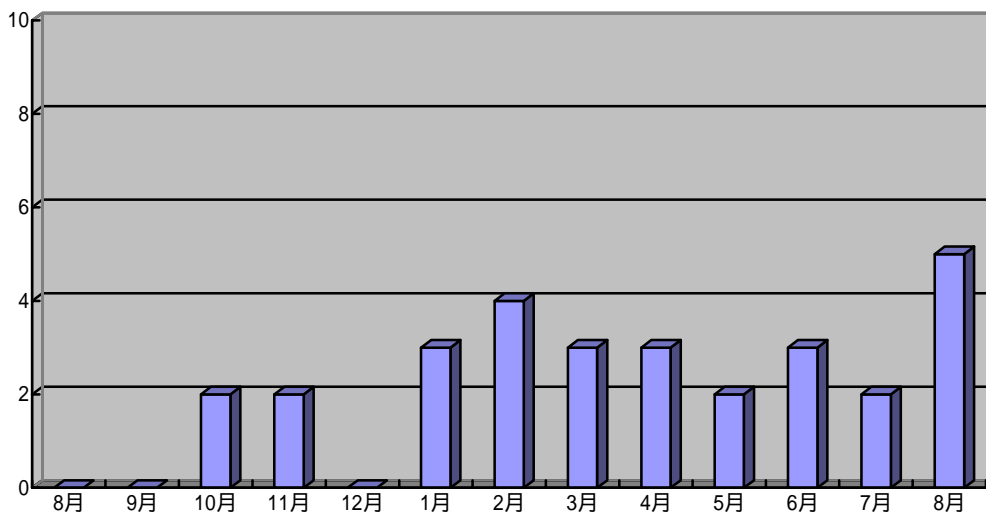
2006年8月度に報告されたフィッシングサイトの件数は4件で、先月度よりも1件増加しました。



フィッシングサイトの件数(2005年8月～2006年8月)

・ **フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数**： 5 件

2006年8月度にブランド名を悪用された企業の件数は5件で、「eBay」、「Yahoo! Japan」、「Chase」、「PayPal」、「e-gold」が標的となりました。総件数は、過去1年間の中で最も多いものとなりました。

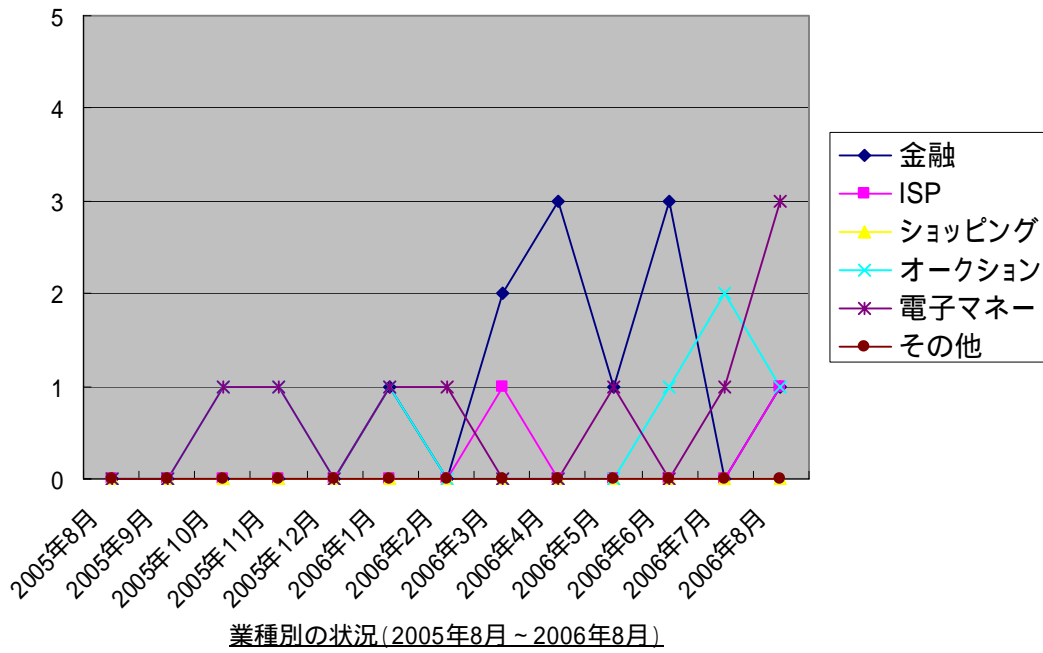


フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数(2005年8月～2006年8月)

・ **もっともフィッシングに利用されるWEBサイトが多かった国**： アメリカ、日本、中国、ブルガリア（各1件）

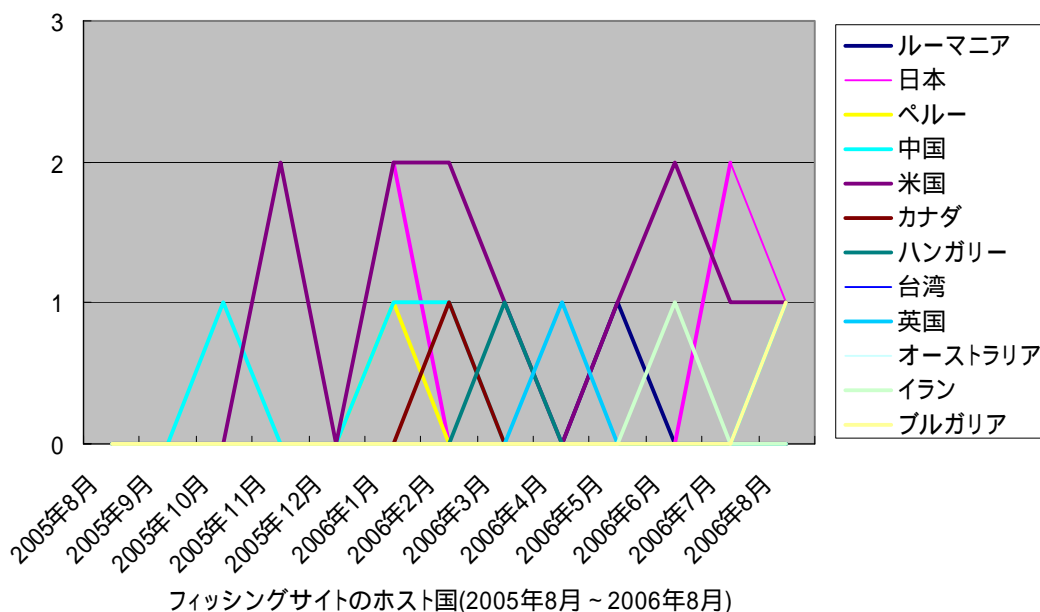
1.2. 業種別の状況

2006年8月度に標的となった業種は、金融1件、ISP1件、オークションサイト1件、電子マネー3件でした。



1.3. フィッシングサイトのホスト国

2006年8月度に報告された4件のフィッシングサイトは、それぞれ米国、日本、中国、ブルガリアでホスティングされていました。



1.4. フィッシングメールの動向

8月度に報告されたフィッシングメールは合計6件で、そのうち2件はメール本文中に情報入力フォームのあるフィッシングメールでした。このタイプは、リンクをクリックさせて偽サイトに誘導するのではなく、直接本文中の入力フォームに個人情報を入力させて情報を盗み取ろうとします。このような手口は特に新しいものではなく、以前からしばしば見られるものです。

「Chase Bank」を騙るフィッシングメールにおいては、スパムフィルタを回避する手法が確認されました。これは、本文に適当な文章やHTMLタグを書き込み、偽メール本体は画像として添付することによって、スパムフィルタに引っ掛からないようにするというものです。最近ではスパムフィルタがフィッシングに対応してきてフィッシングメールがスパムと判定されることが多くなってきたため、このような手法が使われ始めています。

今回、日本語のメールは1件で、「Yahoo! Japan」を騙るものでした。

1.5. フィッシングサイトの動向

今回報告された「Chase Bank」を騙るフィッシングサイトの事例において紛らわしい URL の使用が認められました。口座情報詐取画面の URL の最初部分が「http://www.chase.com.xxx.xxx/」といった具合に、本物のサイトのドメイン名が使われていました。先月もこのような手口が確認されています。ドメイン名を確認する際には「.com/」までチェックする必要があります。

1.6. フィッシング関連の不正プログラム情報

特にありません。

1.7. その他の動向

フィッシングではありませんが、セキュリティソフトの購入を強制するサイトに関する報告がありました。「あなたのコンピュータはウイルスに感染している恐れがあります」と嘘の報告によってユーザを騙し、セキュリティソフトのダウンロードを勧めます。セキュリティソフトをダウンロードしてインストールすると今度は、「重要なエラーを検出した」とまたもや虚偽の報告をして、ソフトウェアの正規版を購入するよう勧めてきます。このような手法はスパイウェアの分野でよく使われており、導入されたプログラムは「偽装セキュリティツール」などと呼ばれています。

1.8. 総括

8月度には、先月度に引き続き「Yahoo! Japan」を騙る日本語のフィッシングメール・サイトの報告がありました。これらのメール・サイトには毎回同じようなフォーマットが使用されており、同一犯の可能性も考えられます。「Yahoo! Japan」を騙るものはこのところ増加傾向にあり、協議会としても十分に注意喚起を行っていく必要があります。

フィッシングの報告件数に関しては、依然少ない状況が続いています。フィッシングに対する認知度は新聞・テレビ・雑誌などの報道によって高まっていると思われませんが、協議会への報告数は相変わらず一桁台に留まっています。フィッシング対策協議会としては、より多くのフィッシング情報の受け皿としての役目を担っていくように、協議会の存在と意義を広く一般に告知する活動をさらに行っていく必要性があります。